

読書は人生を豊かにする。

本を読もう

～ summer ～

読書で暑い夏を乗り切ろう！

この夏、町図書館があなたに届けたい
おすすめの一冊を紹介します。

問合せ / 町図書館 (電話 72-1300)

～ summer ～



『涼のある暮らし』

リンネル特別編集 / 宝島社

今年も暑い夏がやってきました。エアコンが効いたお部屋もいいですが、できるだけ自然な状態を保ちながら涼感を取り入れ、無理なく暑さを乗り切りたいものです。暑さと上手につきあう知恵が満載の一冊をどうぞ。



『みつばちと少年』

村上山いこ 著 / 講談社

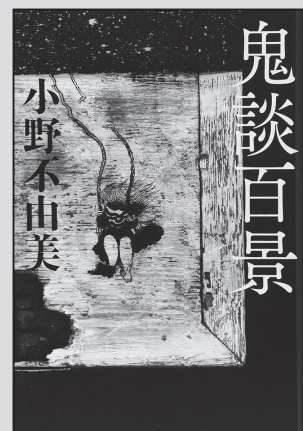
集団の中でうまくやっていた松井雅也は、中1の夏休みを利用して、養蜂場で働くおじさんのいる北海道へ行くことになった「太陽の家」で暮らす5人の子どもたちや、そこを運営しているおばあさんやみんなとの交流、養蜂の仕事の手伝い、イカめしコンテスト出場。自然豊かな北海道でのひと夏を通じて、雅也の心に変化が起こります。児童用図書ですが、大人でも十分楽しめる一冊です。

集団の中でうまくやっていた松井雅也は、中1の夏休みを利用して、養蜂場で働くおじさんのいる北海道へ行くことになった「太陽の家」で暮らす5人の子どもたちや、そこを運営しているおばあさんやみんなとの交流、養蜂の仕事の手伝い、イカめしコンテスト出場。自然豊かな北海道でのひと夏を通じて、雅也の心に変化が起こります。児童用図書ですが、大人でも十分楽しめる一冊です。

『鬼談百景』

小野不由美 著 / メディアファクトリー

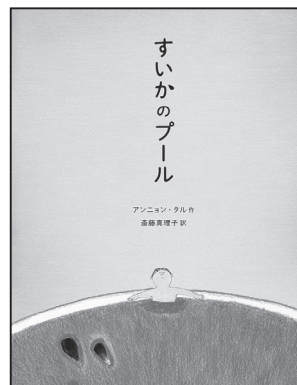
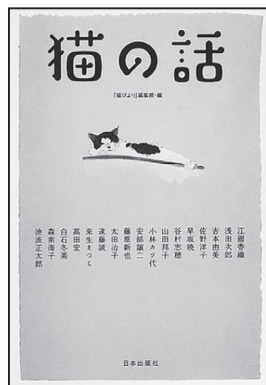
そこから仏間をのぞくと地獄が見えると言われている欄間、不用意にしてはならない赤い服の女の話。ひとつひとつは短く、不思議な結末もあり、身の毛もよだつような怖い話ばかりではありません。しかし、それが九十九話も続くとじわじわと怖さが降り積もり、一人きりの夜は後ろを振り返るのをためらってしまうほど。暑い夏のお供に、百物語はいかがでしょうか？もっと涼しくなりたいという人には、同じ作者の『残穢』もおすすめです。



『猫のはなし』

「猫びより」編集部 編 / 日本出版社

我が家の猫たちは、冬はこじんまりと丸くなっていたり、こたつの中に身を隠していたりと、あまり存在感はありません。しかし夏になると一変し、え！こんなに長い体をしているのかと驚くくらい長く伸びます。猫は不思議な生き物です。この本は、現代の名文家たちがつづった猫のエッセイ集。猫好きならうんうんとうなずいてしまう話や、思わず涙が出てしまいそうな話など、いろいろな話の詰め合わせです。



『すいかのプール』

アンニョン・タル 作 / 齋藤真理子 訳 / 岩波書店

真夏の太陽の下、すっかりすいかが熟したら、すいかプールが始まります。「さっくさっく」と歩いて、「しゃぽん」と飛び込む。柔らかい絵と短い言葉でつづられています。その豊かな表現から、すいかの感触まで伝わってきます。子どもはもちろん、大人もこの本と一緒に、暑い夏を楽しんでください。

元気で住みよい『まちづくり』

〜集落支援員から見た視点〜

一部の都市を除いて、全国的に少子高齢化が進んでいます。特に、日野町は加えて過疎化が進み、高齢化率が50%に達しました。この状況は、年々進んでいき、集落によっては、自助・共助・公助という展開へも近い将来急速に進んでいくことも予想されます。そこで、私たちは集落の維持・存続について、まずは自分たちで考え、課題克服に向けて実践していかなければなりません。集落支援員は、自治会長等を通じて、集落・住みよいまちづくりのためお手伝いするのが仕事です。



集落支援員
松本利秋（秋縄）
【担当集落】
奥渡・真住・高尾・後谷・金持・板井原

住みよい地域、住んでよかったと言える日野町をつくりたいと考えています。よろしくお願ひします。

楽しく幸せな生活を
送るために

和気あいあいの雰囲気の中で、集落の状況を皆で話し合い、内容によっては専門家の助言を受けながら、いろいろなことに取り組んで集落の維持・存続を考えていきたいと思います。活動にも明るい展望が開けると思っています。

個人の生きがいづくり、地域活性化につながるよう努めるため、支援員としてがんばりたいと思います。

コミュニティの充実

町内の集落を回ってみると、若者は日野町を離れ、高齢の夫婦や一人暮らしの人が多く、山間部では高齢化率が70%に達する現状。（老いていくのは、誰もが必ず通る道です）

特に、昨年からの新型コロナウイルス感染症の影響で、家に閉じこもりの生活になりがちです。そうした中、お宅に伺って話をすると喜ばれ、時間の経つのも忘れて話し込むことがあります。

最近では、コロナ対策を万全にして、地域の皆さんが集会所などに集まって

交流し、助け合いや活性化などについて話し合い、活動を進めることが大切だと考えます。

何をするにも元気が一番

その手段の一つとして、町は、中高年者を対象に百歳体操を推進しており、ほとんどの集落で取り組んでいます。

終了後は、お茶やコーヒーを飲みながら、お楽しみのおしゃべり。お話は盛り上がり、さらに活性化に拍車がかかると思っています。



百歳体操で健康づくりに励む（奥渡地区）